

Doyu Yamagata

同友 やまがた

11

2012 November

Vol.236

月刊 | 山形県中小企業家同友会
同友やまがた



特集

新入社員フォローアップ研修

働くことを通して夢を実現しよう

北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会

第40回 青年経営者全国交流会in島根に参加して





10月5日、社員共育委員会主催「新入社員フォローアップ研修」が、山形県産業創造支援センターに於いて開かれました。本研修は入社してからの半年間を振り返り、自らを見直して近い将来を描くことを目的に行われました。当日は、19社から37名が参加。4月の新入社員研修以来の再会となった方も多く、笑顔で近況を語り合う姿が見受けられました。

冒頭、阿部社員共育委員長は「研修やセミナーに参加する際に重要なことがあります。それは教わるということではなく、発見するという事です。気づきです。何かを教わっても行動するのは非常に難しいですが、気づきは行動に直結して人を加速度的に成長させることができます。本日の研修は、発見する、気づくという積極的な気持ちで参加してください」と開会挨拶を述べ、研修がスタートしました。

田宮印刷(株) 金子正人さん、(株)アイ・タックル 山口春菜さん、(株)菓子工房COCOイズミヤ 高橋湖寿江さんが、6ヵ月間仕事をすることで体験した悩みや気づきを報告。新入社員の方々は仕事を覚えることで精いっぱい毎日です。その中で出来なかったことが、出来るようになった喜び、先輩に助けられ、励まされて乗り越えてきたこと、失敗を生かそうと自らのマニュアルを作成したことなどを語り、参加者の共感をよびました。

その後のグループ討論では、「仕事は楽しいですか?」をテーマに、嬉しかったこと、失敗したことなどを語り合い、お互いの成長を確認しました。

参加者レポートより

‘働他楽’で会社の雰囲気をよくしたい

(株)ダンケ 伊藤梨奈子

今回の新入社員フォローアップ研修に参加して、為になった事がたくさんありました。

一つ目は‘働他楽’という事です。私自身、他人を楽しませることは、会社全体の雰囲気明るくなり、良くなっていく事につながるのではないかと感じました。会社の雰囲気を良くし、過ごしやすくしていきたいと思います。

二つ目は、「能力×情熱×考え方」についてです。考え方にマイ

続いて、(有)グローバル物流 奥山正樹社長が、「働くとは～夢を実現するとは、あなたの覚悟次第～」と題し、自らの経験を交えながら講義しました。

奥山氏は、「一日の中で起きている時間のほとんどは仕事をしています。定年まで働くことを考えると人生の大半を仕事で占めている。仕事を楽しめれば、人生そのものが楽しく充実してくる」と語り、主体的に前向きに積極的に取り組むことを提起しました。

そして、みんな幸せになるために働いている。生きていく中で出てくる自分の欲求は、仕事をとおして満たされていくことを説明し、「働くとは、他人を楽にする。他というのは、社長、上司、同僚、部下、お客さんであり、そういう方々を楽しませる、楽にさせるという事だと思います。他を楽にすることによって自分が喜びを感じられるような考え方、生き方を持つことが必要」と語りました。

その上で、「会社はみんなの幸せのためにある。そのために自分達がどうするか」と問いかけ、「人生(仕事)の成果＝考え方×情熱×能力です。社長と社員の全人格の投影が会社の実力。学歴とは社会人になって何を学んだか?学び続けることが大切」と述べました。

午後からは、課題を掴み、次の目標を持って取り組むため、ビジネス・家族・プライベートという三つの項目からなる「人生年表」の作成を行いました。受講した方の中には、目的となる自分の将来像が描けないため、シートに字が書き込めずに苦労している姿も見受けられ、思っている事や考えている事を活字にして目標設定することの難しさを感じました。

さらにグループ討論では、経営者から計画が「チャレンジとなっているか」などの視点やそれを達成するための助言を貰い、再考して持ち帰りました。



ナスがつくと、すべてがマイナスになってしまうということに共感を持ちました。私の知り合いに、問えばなんでも答えてくれる熱心な人がいました。しかし、一度マイナスな考え方になってしまうと、良い事も悪いようにとらえてしまう人だったので、考

え方が一番重要だと再認識しました。

三つ目は、山口春菜さんの体験報告にあった、山口虎の巻です。私も覚える事がたくさんあるので、参考にしていきたいと思えます。本日は、ありがとうございました。

目標を考えるきっかけに

㈱エム・エス・アイ 高橋彩香

春に開催された新入社員フォローアップ研修に参加させて頂きまして、今回は2回目の参加でした。前回ご一緒した4名の方と今回も同じグループになりまして、緊張せずに自分の意見の発表ができました。グループ討論では、質問するタイミングや自分で調べる時間のバランスを大切にすることを学びました。また、人間関係を円滑にできる事や協調性、信頼関係を同僚と築く事が、自分の成長の助けになることを勉強しました。

を聞いて、前向きな気持ち、モチベーションを保ちたいと思いました。

人生年表を作ることで、今後の目標を考える良いきっかけになりました。将来は、お客様の話を聞いて、最適な提案が出来るようになりたいです。その為にまず、現在出来ていない点を改善していきます。新しく覚えた知識を使って、プログラムが正常に動作するように作るまでとても時間がかかってしまいます。今かかっている時間の半分で作れるようにしたいです。また、新しい知識をどんどん吸収してすぐに使いこなせるように、自分なりにまとめ、学びたいと思えます。

奥山さんの講義では、他楽という言葉が印象的でした。他の人を楽しませる、楽にすることが働く事のやりがいとなるというお話に共感し、忘れずに仕事をしていきたいと思えました。また、考え方がマイナスだと仕事の成果もマイナスになるというお話

コミュニケーション能力を高めたい

㈱山形ハーネス 小砂川 汰

半年ぶりに会う人達より、自分は劣っているのではないかと、とても不安だった。しかし、グループ討論で仲間の話を聞いて、共通する話や成長したことなどを話していく中で、自然と緊張がほぐれた。

対して自分の気持ちをそれで表わす事ができる。むしろ、言葉以外の面がとても重要だと思った。一番大切なのは、相手の目を見ること、そして相手を安心させる事の出来る笑顔。

すぐが変わっていく、ということではないと思うが、こういったことは日々の積み重ねで自然と出来ていくはず。仕事をするのに第一に入ってくるのがコミュニケーション能力だと思うので、意識し、日々精進していく。周りに大人になったと言われるように成長したい。

グループ討論では、今の自分に必要だと思われる事がいくつもあった。中でも課題に挙げたコミュニケーションのことでアドバイスをもらった。私は、コミュニケーションとは人とどう上手く喋れるかという力だと思っていた。しかし、それは違っていて、言葉以外にも表情、態度がある。上手く喋れなくても、相手に

仕事をとおして夢を叶えたい

山形オートリサイクルセンター 高橋 侑也



体験報告では、3名の方の6ヶ月間の仕事を通してということに同考することがありました。討論では、自分だけのためではなく他人のためや周りのためにやるなど、一人では成長出来ないなど、色々なお話を聞く事が出来ました。その中でも、石の上にも3年という事を取り上げて討論した事が頭に残っています。まず、3年やってみようと思えました。

たいです。

2つ目は、自分だけはダメと言う事です。自分の事ばかり考えず、他の人、自分以外の人の事を考えながら、一日一日を生きていきたいと思えました。

3つ目は、能力×情熱×考え方です。3つの事はとても大切で、そのどれかがマイナスになると答えはマイナスになってしまいます。なので、3つの全てをプラスにしていきたいです。自分に当てはめれば、能力×やる気×考え方=仕事の回転率だと思いました。この事を頭に入れ、社会人生活を生きていきたいと思えます。

最後ですが、「夢を実現する人、覚悟の度合による」とありました。本当にそうだと思います。私も夢は大きくたくさん持っているので、覚悟を決め仕事をバリバリやって、私の夢全てを叶えたいです。

次に「働く」という講義でお話をお聞きしました。まず基本が大切とのことです。当たり前の事ですが、基本を大切にしてい

北海道・東北ブロック支部長・ 地区会長交流会

9月27日～28日の両日、青森県で開催され、7同友会から72名が参加しました。山形から川合代表理事、山形支部長の青柳理事、伊藤事務局長が参加しました。2回目となるこの交流会は、昨年東日本大震災で中止となり、2年ぶりの開催です。



「自ら動く、自ら変わる、自ら創る」

1日目は、被災地3県の役員の方が、復興レポートを報告。事業再開している企業は増えているが、震災後1年7カ月経っても、遅々として復興が進んでいない現状と行政と市民の想いの差があることが生々しく報告されました。

事例報告では、秋田・仙北地区の地区会設立と同時に運動してきた振興条例制定の取り組みを報告。岩手・盛岡支部では、組織率10%をめざした活動を報告。地区会を発展的に解消し、自主運営の研究会がスタートし、全会員訪問が2巡したことで会員間のつながりが深まったといいます。震災を機に「自ら動く、自ら変わる、自ら創る」と会員さんの意識が変わったことで、例会参加者が飛躍的に増えたことが参考になりました。



地域経営、企業経営と同友会の活動は不離一体

2日目は、「北海道同友会の中小企業振興基本条例制定運動に学ぶ」のテーマで守代表理事が報告。なぜ、「条例」が必

要なのか。条例制定運動で得たことなどを紹介しながら、経営基盤を強くするために、条例に関する学習や特に地域の特徴探しなどを提起し、全市町村で条例制定をめざそうと強調しました。

中小企業の経営基盤は、「地域」そのものであり、「地域経営」と企業経営、同友会経営と不離一体であること、暮らしを守り続けるために条例の必要性に確信を持ちました。

地域に根を張る中小企業の存在こそが暮らしを守る砦であり、そのことを自覚している経営者が多いのが同友会です。最後に、守代表理事が、同友会の3つの目的の実践者になり、「同友会に入って良かった」「同友会を続けて良かった」「同友会に入って会社が良くなった」と役員自ら発信しようとのまとめは、参加者へのエールとなりました。

この2日間をとおり、日常活動を支えるリーダーが支部活動の悩みや経験を交流し合い、明日につながるヒントと元気をもらいました。次年度は多くの支部長と参加し、1年後の成果を確認したいと思います。



第40回 青年経営者全国交流会in島根に参加して

(株)東北消防設備 代表取締役 松田 浩

2012年10月4～5日 島根県松江市にて、1,000名近い参加者で開催されました。

出雲縁結び空港へ着陸する飛行機の窓から見る初めての島根は、「神々の国しまね」というフレーズがピッタリくる穏やかな雰囲気でした。

古事記編纂1300年の記念の年に伺えることになったので、ワクワクしながら参加申し込みをしましたが、飛行機の乗り継ぎがうまくいかず2時間遅刻しました。

第6分科会 市場創造のテーマ【新しいライフスタイルの提案がオンリーワン市場を創っていく！～倉庫の一角から始まった生き様の発信～】に参加しましたが、既述の通り遅刻致しましたので、報告は伺えず、G討論②から参加しました。討論テーマは「自社の売るべきモノは何ですか？」で、様々なお考えを伺うことができましたし、新たな同友のメンバーともお知り合いになれました。遅刻しながらも図々しく参加して良かったと思いました。

報告者が補足説明で「皆さんの理念や方針の根底にある本当の幸せって何ですか？」と問題提起されました。私は、根底にある幸せってみんな違うものだ、と思いました。ということ



は、全員違う幸せを目指せる懐のある理念を構築すべきだし、社員一人ひとりが、その幸せのためのきっかけを見つけ出せる理念であるべきだな、と思いました。

きっかけが見出せれば、価値創造へと繋がっていくことを信じて、これからも生活していきたいと思いました。

話は変わりますが、懇親会は、設営側の心からのおもてなしがとても伝わってくる素晴らしい会場設営・食事・企画でした。心から感謝申し上げます。ですが…参加している我々の意識がまだまだ低く、各テーブルで勝手に乾杯して飲食し、来賓のお話すら静粛に聴くことができない伝統は改めるべきだと思いました。

(株)アサヒメディック 森谷和由



搭乗機が、ゆっくりと旋回しながら高度を下げる。定刻通り、出雲空港到着。今年の青年経営者全国交流会の舞台である、島根に降り立った。

早速、分科会に参加。私は、第7分科会の「自己破産の危機を乗り越えて」に合流。茨城県の企業の報告を受け、7～8人のグループでの討論。まずは、各自の自己紹介。全国の多様な業種が興味深い。そこで、ある一人の経営者の方に出会った。

50代の元呉服商で、現在出雲大社の参道で、「縁結び箸」を企画、販売されている。呉服の先細り需要、観光の多様化、鉄道の廃止…。参拝客の減少に悩まされていた中で、毎年大社に箸(シンボルとして)を奉納する儀式に着目し、縁結びの神と日常の箸を組み合わせ商品化した。これが10年近く前。各自治体や

企業の販促に採用され、これが呼び水となって、関連グッズが広がりを見せ、参拝客の増加につながっている。更に、興味を引いたのは、「席札箸」の商品である。これは、披露宴や会食の場で、出席者名入りの箸袋に縁結び箸と、ゲストに「おやっ」と思わせる代物だ。そして、キャストによる、箸の紹介メッセージがあり、これによりぐいと引き寄せられる。小さなストーリーがある。お飾りでおざなりにされがちな、箸袋と箸であるが、「これは」と気づかせてくれる。

最近、B級グルメとゆるキャラが、地域活性化の主流であるが、つまりは、どれだけストーリー性を持たせるかだろう。まさに、分科会のテーマでもある「付加価値を高める」を実行している。大社への奉納儀式からヒントを得、それを膨らませ、箸という「モノ」に縁結びの「コト」を組み合わせ商品化計画、それ自体ストーリーである。

翌日、早速に参道のある件の店へ。ここでも社員の方による暖かいおもてなしがあり、より具体的な声を聞くことが出来た。ここにも出会い。

縁結びの地で、縁人との出会い。神話の国を象徴する、秋の実りにふさわしい交流会を過ごせた。

最後に、中同協、島根県同友会による、縁ある運営に感謝します。

寒河江・さくらんぼ支部合同例会



9月30日、寒河江・さくらんぼ支部合同例会がプラザシンフォニー(河北町)で開催され、会員・ゲスト60名が参加しました。

宮城同友会理事で、今年度から中同協共同求人副委員長を務める(株)ヴィ・クルー代表取締役 佐藤全氏より、「新しい仕事づくり～挑戦こそわが社のDNA～」のテーマで報告していただきました。

(株)ヴィ・クルーは、宮城県白石市で、循環型社会を考えたバス専門の車体整備・車体製造、製品開発と新しい可能性と時代のニーズに対応した取り組みを続けています。昨年の東日本大震災のなかで、辞めずにやれてきたのは「経営指針」があるからと語る佐藤社長。

1万5千㎡の整備工場は東日本最大規模を誇り、「かかわるすべてがゲンキに」の理念のもと、数年前から「人・車・地域を元気にするメーカー」へ第二創業を開始しました。



見えてきました。

経営理念を科学性・社会性・人間性の視点から実践を検証し、

現状認識・事業定義の重要性

会社を取り巻く業界と市場分析で現状認識の重要性を強調します。バス業界の分析を例に、「未来(仮説)・自社のあるべき姿(仮説)」を立て、「実現に向けた課題」として、外国語対応の人材育成や富裕層のニーズ調査の課題が

「仕事を待つ会社から提案型のメーカー」へと変わります。

10年ビジョンの実現

H16年に描いた10年ビジョンが、8年経った現在「小ボラ」になっていると語る佐藤社長は、「初めは大ボラでいい。それをやり続ければ中ボラ、小ボラそして達成する」といます。小ボラに至るまでの実践を紹介し、成功事例の水平展開と深化による新しい仕事づくりが「わが社でもできる」と大きなヒントをいただきました。

共同求人は社会運動

「経営指針を創ったら共同求人もやるんだよね」と助言され、新しい可能性のために戦略的な採用に挑戦し、現在8割が新卒採用です。

毎年新しい仕事を創るために同友会の共同求人に取り組んだ結果、内製化が進み、「バスのゆりかごから墓場まで」と総合力が強くなったことで、価格決定権が持てるようになりました。

若者の雇用は、地域で若者を育てることにつながり、成長した社員は地域の担い手となり、共同求人は地域に人を残す社会運動そのものです。

有給休暇の消化ほぼ100%で、産休、育児休暇も取れる魅力ある会社です。給料は誰からもらっていると問いかける佐藤氏。「社員の給料はお客さまから」「社長の給料は社員から」とのこたえが刺激的でした。

「採用は経営指針の実践!」「同友会に入ったらど真ん中を歩け!」と同友会の魅力を熱く語っていただき、新しい気づきと刺激に溢れた例会となりました。



2013年 新春交流会

見えてきた!明日の地域づくり、会社づくり

～私たちの声を行政に届け、施策に反映させよう～

同友会は、2003年から「中小企業憲章」と「中小企業振興基本条例」制定に取り組み、2010年6月には、「中小企業憲章」が閣議決定され、条例は、現在17都道府県79市区町で制定されています。

山形同友会は、中小企業の活力が地域を支える柱と考え5年前から活動を続け、山形県の条例制定が予定されています。

新春交流会は、「条例」って何なのか、「条例」があることで地域が、自社がどう良くなっていくのかを学びあい、持続可能な地域づくりのために、自社の経営基盤である「地域」と自社を見つめ直す機会とします。

日時

2013年1月23日(水) 開会 15:30~20:30

第1部 基調報告・対談とグループ討論

第2部 懇親会

会場

ホテルメトロポリタン山形

山形市香澄町1-1-1 TEL 023-628-1111

参加費

無料、懇親会費5,000円



新会員紹介

◎ 太田 均氏

(株)ソニックジャパン
東根営業所 所長
業種 保険総合代理店(業)
さくらんぼ支部

◎ 今泉 孝氏

(株)アイティーラボ
代表取締役
業種 ソフトウェア
システム開発
置賜支部

◎ 志謙 正男氏

(株)オフィスエムズ 代表取締役
業種 ブライダルプランニング、
飲食業
山形支部

◎ 大江 章氏

マハネット(株) 代表取締役
業種 防犯カメラ、
画像機器の製造・販売
さくらんぼ支部

◎ 片寄 眞理氏

オレンジ調剤薬局
業種 調剤薬局
山形支部

会員名変更

- (株)サンベンディング東北 山形営業所
所長 青山巧氏
→ 所長 金光巧氏(山形支部)
- (株)四季の住まい
部長 大石偉雅氏
→ 後藤毅氏(山形支部)

第7回理事会報告

■日時:2012年10月18日(木)16:00~17:30 ■会場:伝国の社 会議室 ■議長:若木理事
■出席:阿部(和)、川合、齋藤、佐藤(一)、松田、若木、及川、島貫、佐藤、委任状:安藤、後藤、事務局:伊藤、矢作(11名)

今回は会場を移動し、米沢市で開催いたしました。議長を若木理事がつとめ下記の議事を進めました。はじめに、川合代表理事が「会場・時間を移動しての理事会です。少ない人数ですが、慎重な議論をしていきましょう。また、同じ会場で置賜支部例会がありますので、引き続き参加をお願いしたい」と挨拶を述べました。

■報告事項

1)北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会について、川合代表理事が報告。

7同友会より72名が参加し、3名の参加は山形同友会だったことを指摘しました。

2)北海道・東北ブロック代表者会議について、伊藤事務局長が報告。

3)島根青全交(10/4~5)について、松田代表理事が報告。

4)社員共育員会より、阿部委員長が新入社員F U研修、幹部社員研修1, 2講の特長と成果を報告。

5)政策委員会より、齋藤理事が、9/30に行われた「小規模経営企業を応援するための地方会議」について報告。

6)9月決算報告と会費未収状況について、伊藤事務局長が報告。

■承認事項(入・退会承認) 入会者5名、退会者3名

10/18現在406名

●支部移動・変更など

①山形支部 ⇒寒河江支部へ

・ファイナンシャルアライアンス(株)
山形中央店 支店長 佐藤慶一氏

②寒河江支部⇒山形支部へ(住所変更に伴い)

・(有)東京貴鉾(アトリエジェムカフェ)

(新)〒990-0885 山形市嶋北1丁目20-30

電話023-682-8330

③住所変更 (株)多利加 (新)〒990-0034 山形市東原町3-4-8

④氏名変更 (株)サンペンディング東北

山形営業所 所長 青山 巧氏⇒金光 巧氏

⑤会員名変更 (株)四季の住まい

部長 大石偉雅氏⇒ 後藤 毅氏

■討議事項

議題1:第10回経営研究集会について

川合代表理事より、会員数、来賓の方の参加状況が報告され、200名目標を達成させようと提案があり確認されました。「会員さんがどうしても都合がなければ、社員さんを代理で出して頂きたい」の文書発言が紹介されました。

議題2:「山形県中小企業振興条例」骨子案の件

齋藤委員長より、約5年間の活動が「条例制定」までになったことが報告されました。昨年担当県議と、「条例骨子原案」について2回にわたる意見交換を行いました。県議会事務局より「骨子案」をいただき、e. d o y uで全会員にお知らせし、同友会としてパブリックコメント反映させる提案があり、意見集約については、政策委員会をお願いすることが決まりました。

議題3:2013年新春交流会の件

齋藤理事より、実行委員会の報告と、開催要項、目的について提案があり、承認されました。各支部の参加目標は、11月支部幹事会で決めることになりました。

議題4:2012年度活動の進捗状況と課題について

松田代表理事より、2012年度4つの重点課題にそって、成果と課題がだされ、引き続き、運動課題をさらに深めていくことを確認しました。

議題5:新e. d o y u移行の件

新システムが10/29からスタートします。それに伴い、各グループ責任者(支部長・委員長・部長)の方も、掲示板等の活用ができるようにすることが提案され、次回理事会で検討します。

議題6:代表理事人事について

川合代表理事より、組織は常に新しい風を入れていくことが必要だとし、2013年度の新体制の検討をしていきたいと提案がありました。また、松田代表理事からも、同友会の事業承継も企業と同じで、半年かけて次の基準作りをしていきたいと補足提案があり、次回理事会の継続審議となりました。

■その他

- ①事業承継セミナー(きらやか銀行さん主催12/4)の参加要請。
- ②衆議院選挙予定候補者への「中小企業憲章・国会決議」提出文章の確認。
- ③「人を生かす経営全国交流会」(11/15~16in愛知)の参加要請。
- ④次回理事会日程

●日時:11月14日(水)午後6時30分

●会場:同友会事務局

■閉会挨拶(松田代表理事)

本日は慎重審議ありがとうございます。12月は同友会にとって節目となります。念願の条例制定が、実現間近になり、これまでの政策委員会の活動に感謝いたします。経営研究集会、新春交流会を成功させていきましょう。

同友やまがた11月号 (2012年11月1日発行/通巻236号)

From Editor

★第10回経営研究集会まで、あと10日となりました。「4月定時総会」「11月経営研究集会」「1月新春交流会」の全県行事ごとにグループ研修を開催していますが、今回は、「学び方を深めるグループ討論」の基本をしっかり学ぼうと中同協の松井専務幹事に来ていただきました。初の試みとして模擬グループ討論も行いました。★コテコテ大阪弁でちょっとついていくのが大変な点もありましたが、12ページのレジュメを50分でお話していただき、例会で何を学ぶのかがストンと胸に落ちました。★企業が目指すべきものを明確にした「人を生かす経営(労使見解)」は、1975年に発表されてから37

年経ち、経営のバイブルとして読み継がれています。「ますます厳しさを加えと書いているが、永久に厳しい」と言い切った時には、目が覚める思いがしました。失われた20年と言われ、いよいよ永久に厳しい時代なのでしょう。★労使見解をじっくり読み返しました。先行き不透明な時代だからこそ、多くの方に読んでもらいたいと思いました。特に17年前の田山さんと赤石さんの対談録を。経営者の責任はもちろんですが、社員も仕事を通じて幸せになるようみんなががんばらないとダメなのではと指摘しています。人生の大半を仕事を通して生きています。 (由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp